

豚熱（CSF）ウイルスを拡げないために

令和2年（2020）年11月

栃木県農政部畜産振興課

豚熱（CSF）ウイルスのイノシシへの感染が拡大すれば、山林が汚染される可能性があります。山林に入った後は、帰宅前に、車両の消毒等にご協力ください。

① 靴、手指の消毒

靴底の汚れをブラシ等で落とし、消毒液を噴霧する。手指もアルコール等で消毒する。



② 車両（タイヤ、荷台、マット、ペダル、ハンドル等）の消毒

タイヤやマットに付着した汚れをできるだけ落とし、消毒液を噴霧する。



※ 駐車場所が未舗装で土等の付着が多い場合は、舗装した道路に出た際に再度消毒を実施する。

③ 山林から撤収した荷物の消毒

- ・土等の汚れは捕獲地点でできるだけ落とす。
- ・山林から持ち帰った手荷物は、全て消毒液を噴霧してから車両に積み込む。

【その他】

④ 帰宅後の衣服の洗濯、器具等の洗浄・消毒

- ・作業着、手袋は毎回洗濯する。
- ・使用した器具も血液や土の付着が残らないよう念入りに水洗、消毒する。

⑤ 廃棄物の処理

ゴミは袋に密封した状態で持ち帰り、各市町のルールに沿って処分してください。

作業後は、家畜の飼養施設に立ち寄らないようお願いします。